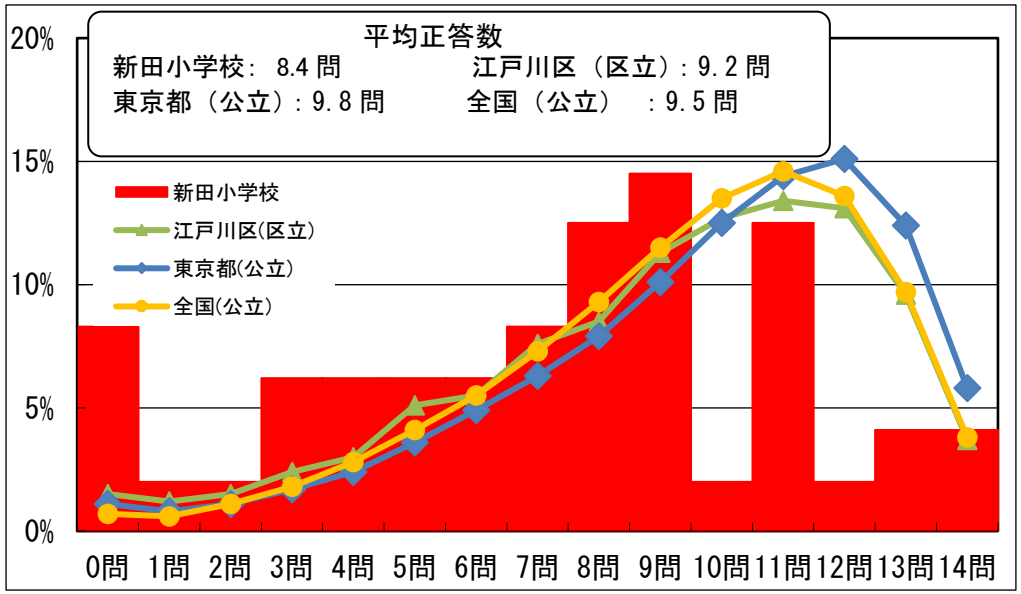
令和6年度　全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】新田小学校

正　答　数　分　布



＜四分位における割合（都全体の四分位による）＞

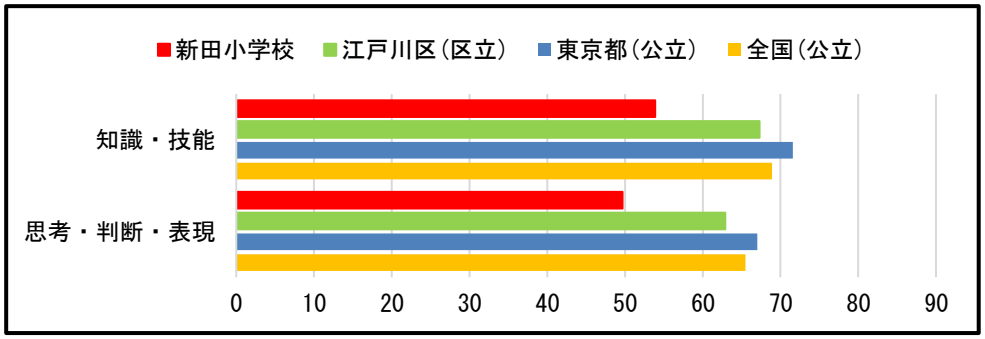
上位 ←→ 下位

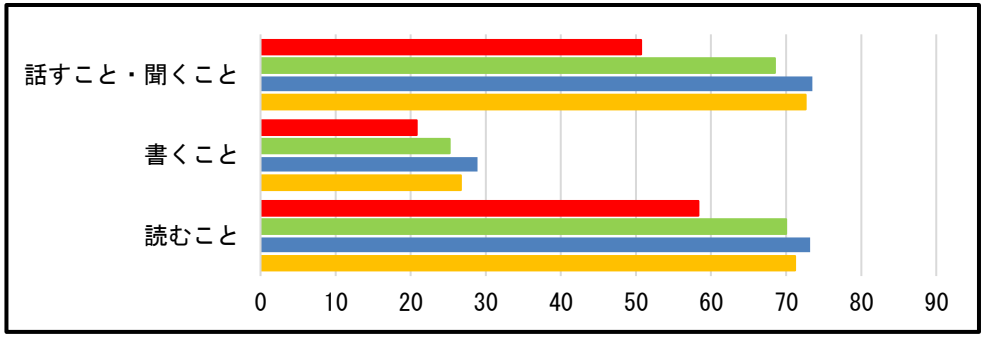
国　語	A層 12～14 問	B層 10～11 問	C層 8～9 問	D層 0～7 問
新田小学校	**22.2**	**19.4**	**23.4**	**34.8**
江戸川区（区立）	26.9	25.1	19.3	28.4
東京都（公立）	32.8	25.3	19.8	22.1
全国（公立）	28.1	27.1	19.8	25.0

%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

「領域別」の結果





【平均正答率の差】

新田小学校	**60%**
江戸川区（区立）	64%
東京都（公立）	70%
全国（公立）	67.7%
都との差	**10 ポイント**

【分析結果と授業改善に向けて】

本校の正答数分布は、全国、東京都、江戸川区と比較するとＡ層とＢ層の割合が低く、Ｃ層とＤ層の割合が高い傾向がある。３問目～９問目までの正答数は全国、東京都、江戸川を上回っているが、その後の正答数で差が見られる。知識・技能、思考・判断・表現ではともに課題が見られる。書くことは他の数値に比べると全国・東京・江戸川の数値に近い。この結果を受け、知識・技能、思考・判断・表現の向上を図るため、児童の課題意識を高めた上でめあてを設定し、自分自身で考え、課題解決ができる活動を設定する。話すこと・聞くことでは、活動の視点を明確にして、指導を行う。